

# 破天荒

教宣部

4961号

2013年  
10月28日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合

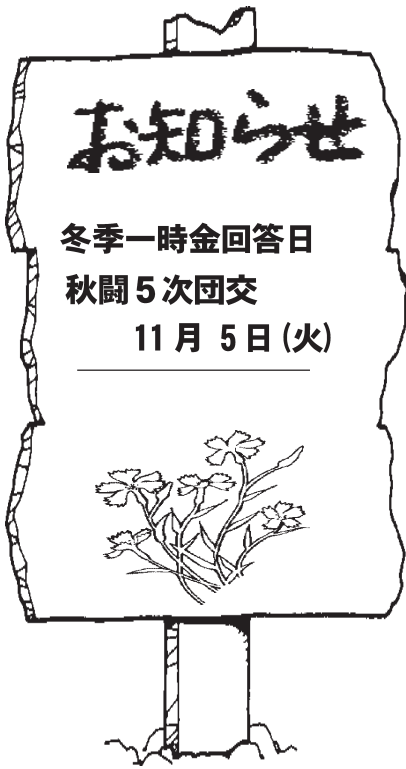
## 一時金要求3ヶ月

先日の団交で、冬一時金三ヶ月を提出しました。電子は黒字ぎりぎり・システムはオプトの黒字分で賄えないくらい赤字らしいです。

十年前

医療費補助の経過を整理していますが、2千年頃の健保被保険者数は二三百人、一時金月数は年間五・五カ月でそこから拠出された医療費補助原資は六五〇万を超えていました。

それが昨年末では人数は4割減、補助原資は半額となつて運用しています。世間の景気とは別に竹中が自主的に歩んできた結果として現在の売上げや経常利益があると思うんですが、会社は売上げが悪い



ですが、これでは「会社悪し、従業員並み以下、客はクレームで怒ってる」：悪巡回の経営状態に陥っていると言わざるを得ません。

### 現状把握

悪循環脱出のために査定導入・事業部制の導入を行った筈なのですが一向に効果が数字に表れていません。むしろ悪くなる一方です。

### 家訓

竹中の経営ポリシーの中に「客良し、会社良し、従業員良し」なんて善循環の経営つてのがあったと思うの

## 時代は流れて

日本は明治維新で新しい時代を迎えた。その77年後には太平洋戦争の終戦により、また新しい時代に変わった。そして今、また時代は大きく変わっていきつつある。

第2次安倍内閣の誕生(有権者の約25%しか支持していなかったが...)からの流れでは、憲法が改悪され戦争に参加する道が開か

す。目的は何だったのか? 「やる気を出してもらおう」とではなかったのでしょうか?

### 評価

現社長の評価として団交発言で「たの」は「確かに経費は下がっている」。しかし売上げが伸びない、現場を信頼していないんやね? だったら独りで全てやったら...

組合では、春に賃金・秋には諸制度に関して会社に要求を提出しています。

### 進まない秋闘

今秋闘では、多くの項目を要求していますが、その中で育児・介護に関して休暇を有給と同じ扱いにできないかを要求しています。



たとえば「介護休暇」に関しては、「要介護状態にある家族を介護する従業員は、該当要介護者の介護をするために、当該要介護者一人の場合是一年に5日間、二人以上の場合一年に10日を限度に介護休暇を取得できる。」と協約されています。ただし無給です。この部分を有給休暇と同じ扱いにできないかを要求しています(回答は無給です)。



年齢の高い従業員が多いので、年寄いた両親を介護する場合、すごく助かる制度です。使わないのは別として、保険と同じ考えで従業員が安心して働ける環境づくりも企業の発展のために必要だと思います。